

# JIS

## 化学物質等安全データシート（MSDS） — 内容及び項目の順序

JIS Z 7250 : 2010

(JCIA/JSA)

平成 22 年 10 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## 日本工業標準調査会標準部会 環境・資源循環専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	二 瓶 好 正	東京理科大学
(委員)	有 田 芳 子	主婦連合会
	安 藤 修	社団法人日本分析機器工業会 (株式会社島津製作所)
	井 田 久 雄	社団法人プラスチック処理促進協会
	稲 葉 敦	工学院大学
	指 宿 堯 嗣	社団法人産業環境管理協会
	鶴 沢 政 晴	社団法人日本鉄鋼連盟
	久 米 猛	一般財団法人化学物質評価研究機構
	小 林 珠 江	株式会社コミュニケーション科学研究所
	酒 井 伸 一	京都大学
	菅 邦 弘	社団法人日本電機工業会
	湛 久 徳	社団法人電子情報技術産業協会
	辰 巳 菊 子	社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
	谷 口 実	社団法人日本自動車工業会
	富 田 六 郎	社団法人日本建材・住宅設備産業協会 (株式会社太平洋セメント)
	中 田 三 郎	社団法人日本化学工業協会
	永 田 勝 也	早稲田大学
	西 尾 チヅル	筑波大学大学院
	秦 康 之	環境省
	原 田 晃	独立行政法人産業技術総合研究所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 12.2.20 改正：平成 22.10.20

官 報 公 示：平成 22.10.20

原 案 作 成 者：社団法人日本化学工業協会

(〒104-0033 東京都中央区新川 1-4-1 住友不動産六甲ビル TEL 03-3297-2550)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：環境・資源循環専門委員会 (委員長 二瓶 好正)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット環境生活標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文.....	1
1 適用範囲.....	1
2 引用規格.....	1
3 用語及び定義.....	2
4 一般事項.....	4
5 MSDS の内容及び全体構成.....	5
附属書 A（規定）MSDS の編集及び作成のための指針.....	7
附属書 JA（参考）JIS と対応国際規格との対比表.....	13
解 説.....	15

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本化学工業協会（JCIA）及び財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS Z 7250:2005** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権及び出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

# 化学物質等安全データシート（MSDS） — 内容及び項目の順序

## Safety data sheet for chemical products—Content and order of sections

### 序文

この規格は、2009年に第1版として発行された **ISO 11014** を基に、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、**ISO 11014:2009** は、2007年に国際連合経済社会理事会によって発行された、“化学品の分類および表示に関する世界調和システム 改訂2版、第1部 序、1.5章危険有害性に関する情報の伝達：安全データシート [Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (以下、“GHS”という。), Second revised edition, Part 1, Chapter 1.5 Hazard communication:Safety data sheets]” と整合するように **ISO 11014-1:1994** を改正した規格である。

なお、2009年7月に GHS 改訂3版が英文で発行されたので、この規格は、GHS 改訂3版で大きく変更された要求事項についても記載している。

既に、化学物質等安全データシート（以下、“MSDS”という。）が広く作成され、使用されている現状を考慮し、MSDS の作成者又は使用者に無用の混乱を生じさせないため、**JIS Z 7250:2000** の様式の MSDS は2010年を期限に有効に使用できるように、また **JIS Z 7250:2005** の様式の MSDS は、2015年を期限に有効に使用できるよう配慮して、箇条4の注記3に付記した。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書 JA に示す。

注記 MSDS は、GHS では、SDS (Safety data sheets) と呼ばれている。

### 1 適用範囲

この規格は、MSDS の項目、記載内容及び全体構成について規定する。

なお、この規格は、固定した様式を規定するものではなく、また、実際に記入する MSDS を含むものではない。

注記1 法規制などは、この規格に優先する。

注記2 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

**ISO 11014:2009**, Safety data sheet for chemical products—Content and order of sections (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1**に基づき、“修正している”ことを示す。

### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの